



滝田としゆき たきたた敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

印旛郡市への県新児相設置を答申!

千葉ニュータウン県有地への誘致に全力!

千葉県児童相談所管轄区域見直し

千葉県議会随一の論客として活躍する滝田敏幸県議(4期)は6月定例会において県政史上最速で30回目の一般質問に登壇。千葉県社会福祉審議会から知事へ答申された「児童相談所管轄区域の見直し」や県消防広域化計画、手賀沼土地改良事業など重要課題について質疑を展開しました。また、自民党・新型コロナウイルス対策副本部長として、感染拡大の第2波に備えた県の医療提供体制強化についても提言。6月補正予算においても、PCR検査体制の拡充や病床確保で結果を残しています。



県議会史上最速で30回目の一般質問に登壇

6月定例会県議会一般質問

滝田議員 県では、近年の児童虐待対応件数の増加等に伴う児童相談所の体制強化の一つとして、児童相談所の管轄区域の見直しについて検討が進められており、県社会福祉審議会の下部組織である社会的養護・検討部会で審議されていたが、6月4日に知事に答申がされた。

そこだろうかすが、児童相談所の管轄区域の見直しに係る答申を受けて、県は今後どのように取り組んでいくのか。

知事 県の所管する児童相談所は、現在6か所あり

ますが、中央、市川、柏の3児童相談所については、いずれも管轄の人口が130万人を超えている状況にあります。

今回の答申は、昨今の児童虐待対応件数の増加等も踏まえ、1か所当たりの管轄人口の改善に向け、新たに児童相談所の2か所増設を求めるものであり、県としても、児童虐待対策に、的確かつきめ細やかに対応していく上でも、早急に整備を進める必要があると認識しております。

県としては、本答申を踏まえ、できるだけ早期に候補地が決定できるように、市町村や関係機関とも協議の上、具体的な設置場所の選定等を進めてまいります。

滝田議員 新たな児童相談所の候補地選定や、選定後における基本的な進め方について、どう考えているのか。

健康福祉部長 児童相談所の候補地については、交通機関等の利便性や周辺環境等の諸条件を勘案の上、検討していく必要があると認識しており、各管轄区域内の未利用公有地の活用を含め、総合的な観点から検討を進めてまいります。

今後、地元と調整等を図った上で、候補地が選定された後は、整備に向けた計画づくり等を進めることとなります。

4児童相談所に一時保護所増設

滝田議員 県は、一時保護所の改善にどのように取り組んでいくのか。

健康福祉部長 県の6児童相談所における一時保護所の入所状況は、定員115人に対し、平成28年4月1日の保護人員は110人であったところ、本年4月1日には179人と、大幅に増加しています。これに対応するため、一

時保護所の職員配置を、平成28年4月の57人から、本年4月1日には111人と、4年間54人の増員を行っております。

また、本年度中に一時保護所の定員を115人から171人へ拡充するため、現在、中央・市川・柏・君津の各児童相談所の一時保護所の増設等を進めているところです。

要望 施設の整備にあたっては、通常、計画を立て、設計し、工事という流れの中で、完成までに時間を要することは承知しているが、できる限りスピード感を持って取り組んでいただくよう要望する。

●県政と印西市・栄町に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

たきたた敏幸事務所
 〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173

滝田議員 今後、県として児童相談所職員の負担軽減に、どのように対応していくのか。

健康福祉部長 児童相談所職員の負担軽減に向けては、特に若手職員へのきめ細やかなサポート体制が必要となることから、指導及び教育を行う児童福祉司、いわゆる「スーパーバイザー」を、担当地区ごとに1名配置しており、これに加え、中堅職員にもサポート役を担ってもらうなどの配慮をしています。

スーパーバイザーが児相職員をサポート

国道16号千葉柏道路位置図



野田市から利根川沿いを南下し印西市縦断のルートが検討される。

印西市～野田市ルート検討へ

国道16号千葉柏道路

県議会県土整備常任委員及び自民党北千葉道路推進議員連盟事務局長として活躍する滝田県議は、国道16号バイパスとなる「千葉柏道路」について、国・県・沿線市への積極的な要請を行ってきた。本年6月3日、国土交通省、千葉県及び東日本高速道路会社などで構成する「千葉県道路協議会」において、野田市～印西市間・36キロメートル「利根川ルート」を検討していくことが確認されました。

地元印西市を東西に横断する北千葉道路と南北に縦断する「千葉柏道路」の整備促進について、今後も関係各方面へ積極的に働き掛けて参ります。

**千葉県道路協議会
国と県などで合意**

印西・栄町の消防広域化訴え

県の財政支援とイニシアチブ要請

滝田議員 消防広域化により、災害発生時等における初動体制の強化や現場到着時間の短縮等、さまざまなスケールメリットが実現され、地域住民への対応力の向上が図られる。

しかしながら、消防広域化は組織や財政事情が異なる市町村が共同で消防業務を行うことになることから、合意形成に時間を要することも想定される。

そこで、うかがうが、消防広域化についての取り組み状況はどうか。また、今後どのように取り組んでいくのか。

防災危機管理部長 消防広域化を推進するためには、市町村における主体的な取り組みが重要であり、県としては市町村の意見を丁寧に取りながら、積極的に助言、支援することが必要であると考えています。

このため、県では、千葉県消防広域化推進計画に基づき、これまで広域化対象市町村を中心とした地域に対し、説明会を開催するとともに、今後の推進方策等について個別に意見交換を行い、広域化に対する考え方をうかがってきたところです。

今後は、地域の実情を踏まえながら、消防広域化推進アドバイザー制度の活用や個別の働きかけを行うことなどにより、協議開始のための場の設定に向け、積極的に取り組んでいきます。

消防車の更新も起債対象に要望

滝田議員 広域化に関する市町村のインセンティブ

となる具体的な支援策についての検討状況はどうか。

防災危機管理部長 消防広域化を推進するためには、市町村のインセンティブとなる財政支援が必要であると認識しています。

そこで、現在、国では、消防広域化に伴い必要となる消防署の新築・増築や高性能な消防用車両の導入などに対し、緊急防災・減災事業費を措置していますが、県としては、これを令和3年度以降も継続することはもとより、限定的な起債の適用対象を、消防用車両の老朽化による更新等も含めた整備全般に拡大するよう、国に提案・要望してまいります。

また、要望に対する国の対応状況や市町村の財政事情

たきた敏幸・PROFILE

- 1960年 印旛郡印西町大森生まれ 大森小、印西中、県立我孫子高校卒
- 1982年 同志社大学卒業
- 1999年 印西市議2期
- 2007年 千葉県議4期
- 2008年 印西市消防団副団長
- 2009年 総合企画水道常任委員長
- 2010年 千葉県ラグビー協会会長
- 2013年 総務防災常任委員長
- 2016年 農林水産常任委員長
- 2019年 獣医療対策議員連盟会長

要望 滝田議員 消防広域化については国策であり、県としても是非実現しなければならぬという強い姿勢で、今後も引き続き関係する市町村の間

の調整を行うとともに、支援策の検討を積極的に行うよう強く要望する。

広域化の基本計画にもあったが、まず、栄町と印西市及び白井市を含む印西地区消防組合との広域化について、最優先で取り組んでいただくよう要望する。

北千葉道路・成田市押畑～大山間の整備促進に尽力



新型コロナ対策本部で発言する滝田県議

地域防災計画を見直し 避難所も新型コロナ対策

滝田議員 新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、千葉県地域防災計画において、感染症対策の充実を具体的に図っていくべきと考えられているか。

知事 現行の地域防災計画では、市町村における避難所の運営に関して、被災者の健康状態の把握、栄養指導、衛生状態の保持等健康管理に努めるものと定められています。

新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、県では、避難所における感染症対策として、

「指定避難所において感染症発生した場合の対応やホテル・旅館等の活用などについて平常時から検討すること」「マスクや消毒液などの物資の備蓄に努めること」などが新たに加えられたところです。

今後、こうした具体的な取り組みを地域防災計画に位置づけ、新型コロナウイルスや他の感染症が発生した場合に、適切に対応できるように計画を見直してまいります。

また、本年5月に修正された国の防災基本計画では、「指定避難所において感染症発生した場合の対応やホテル・旅館等の活用などについて平常時から検討すること」「マスクや消毒液などの物資の備蓄に努めること」などが新たに加えられたところです。

今後、こうした具体的な取り組みを地域防災計画に位置づけ、新型コロナウイルスや他の感染症が発生した場合に、適切に対応できるように計画を見直してまいります。